

いぶりの環境・エネルギー産業

胆振の概況 2022

- 管内には、道内唯一の製油所である出光興産(株)北海道製油所、道内最大の火力発電所である苫東厚真発電所、苫小牧市勇払地区の油ガス田などがあり、北海道の重要なエネルギー供給拠点となっているほか、豊かな自然環境に恵まれ、太陽光や風力、バイオマス、地熱といった多様なエネルギー源が豊富に賦存することから、各地で地域の環境特性に合わせた再生可能エネルギーの導入が進められています。
- また、水素の活用や二酸化炭素の分離・回収・貯蔵及び有効利用に関する実証試験、洋上風力発電関連事業の推進に向けた官民が連携した取組など、脱炭素社会の実現に資する取組が進められています。

(1) 全道へのエネルギー供給拠点

① 石油精製

事業所名	所在地	操業開始	原油処理能力
出光興産(株)北海道製油所	苫小牧市	1973(S48)	15万バレル/日

② 石油備蓄基地

施設名	所在地	設立	立地	操業	面積	備蓄施設容量	設備
北海道石油共同備蓄(株)北海道事業所	苫小牧市、厚真町	1979(S54).3	1979(S54).5	1982(S57).9	約135ha	約358万kL	33基
(独)エネルギー・金属鉱物資源機構 /苫小牧東部国家石油備蓄基地	苫小牧市、厚真町	2004(H16).2	1981(S56).3	1984(S59).12	約274ha	約640万kL	57基

③ 石油・ガス受入・出荷施設

事業所名	所在地	受入・出荷製品
ENEOS(株)製造部室蘭事業所	室蘭市	灯油、ガソリン、LPG、軽油、A重油、C重油等を受入、出荷
石油資源開発(株)北海道事業所	苫小牧市	勇払油ガス田から産出した天然ガス等のパイプラインによるガス供給及び原油の出荷

④ 大規模発電所

事業者	発電所名	出力	内訳	使用燃料
北海道電力(株)	苫小牧	250,000kW	1号機250,000kW	重油・天然ガス
	伊達	700,000kW	1号機350,000kW、2号機350,000kW	重油
	苫東厚真	1,650,000kW	1号機350,000kW、2号機600,000kW、4号機700,000kW	石炭
北海道パワーエンジニアリング(株)	苫小牧共同	250,000kW	3号機250,000kW	重油

(2) 再生可能エネルギーの導入状況

① 太陽光発電施設(主なもの)

事業者	所在地	出力	運転開始	備考
(同)苫小牧ソーラエナジー	苫小牧市	45.6MW	2016(H28).1	苫東工業団地内
(株)SJソーラー北海道	登別市	18MW	2018(H30).6	
オリックス(株)	白老町	18.9MW	2015(H27).12	
日鉄鉱業(株)	洞爺湖町	1.99MW	2013(H25).9	
S B エナジー(株)	安平町	64.6MW	2020(R2).7	
(株)C S S (旧市設ソーラーシステム)	厚真町	15.2MW	2015(H27).1	
(株)C S S (旧市設ソーラーシステム)	むかわ町	19MW	2016(H28).3	

② 風力発電施設(主なもの)

事業者	施設名	所在地	基数	出力	運転開始	備考
室蘭市	祝津発電所	室蘭市	1基	1,000kW	2009(H21).12	
室蘭新エネ開発(株)	茶津第一発電所	室蘭市	1基	1,500kW	2006(H18).7	
	茶津第二発電所	室蘭市	1基	1,950kW	2007(H19).9	
(株)ユーラスエナジー伊達	ユーラス伊達ウィンドファーム	伊達市	5基	10,000kW	2011(H23).11	2,000kW×5基
(株)ユーラスエナジー伊達	ユーラス伊達黄金ウィンドファーム	伊達市	17基	34,000kW	2017(H29).2	2,000kW×17基

③ バイオマス発電施設(主なもの)

事業者	所在地	出力	運転開始	備考
苫小牧バイオマス発電(株)	苫小牧市	6,194kW	2017(H29).2	出資者(三井物産(株)・(株)イワクラ・住友林業(株)・北海道ガス(株))
ENEOSバイオマスパワー室蘭(同)	室蘭市	74,900kW	2020(R2).5	

④ 地熱利用発電施設

事業者	所在地	出力	運転開始	備考
洞爺湖温泉利用協同組合	洞爺湖町	41kW	2017(H29).3	バイナリー方式

⑤ 水力発電所

事業者	発電所名	出力	運転開始	発電所名	出力	運転開始
ほくでんエコエナジー(株)	豊浦(豊浦町)	3,500kW	1989(H1).10	杜管(杜管町)	500kW	1920(T9).9
	久保内(杜管町)	7,200kW	1951(S26).11	虻田(洞爺湖町)	19,500kW	1939(S14).10
	洞爺(杜管町)	6,400kW	1939(S14).6			

(3) カーボン・ニュートラルに向けた動き

室蘭市	<ul style="list-style-type: none"> ○水素エネルギーの活用推進 燃料電池車(FCV)の導入推進や移動式水素ステーションの整備、低圧水素配送システム実証実験など、水素エネルギーの拠点化に向けた施策を推進。 ○室蘭脱炭素社会創造協議会〔設立:2021(R3).5〕 室蘭地域における脱炭素社会の実現に向けた将来像や、室蘭地域の資源、技術の活用による他地域を含めた温室効果ガス削減、吸収に資する循環モデルの検討などを実施。 ○室蘭洋上風力関連事業推進協議会(MOPA)〔設立:2020(R2).1〕 室蘭港が洋上風力案件向け部材仮置・積出等の拠点港として国から選定されることなど、室蘭に洋上風力関連事業等を誘致し、西胆振の産業活性化を図ることを目的に活動。
苫小牧市	<ul style="list-style-type: none"> ○CCS[Carbon dioxide Capture and Storage]大規模実証試験〔2012(H24)~2020(R2)〕等*現在も地層内のCO2モニタリングを継続中 CO2を含むガスからCO2を分離・回収して海底下に圧入し貯留。分布状況をモニタリングしCCSの安全性などを検証。地下圧入は2020(R2)年度で終了し、2021(R3)年度から、分離・回収したCO2を資源として有効活用(CCUS)するために必要な液化CO2の長距離・大量輸送に関する実証試験を実施中。 ○苫小牧CCUS・ゼロカーボン推進協議会〔改組:2021(R3).10〕 苫小牧へのCCS実証試験の誘致やCCSの地元理解促進に向け2010(H22)年に設立した「苫小牧CCS促進協議会」(2019(R1)に「苫小牧CCUS・カーボンリサイクル促進協議会」に改組)に「苫小牧水素エネルギープロジェクト会議」を併合し、当協議会へ改組。ゼロカーボンシティへの挑戦と、地域の脱炭素化と産業振興の両立を目指し、地域一体となった取組を実施。